

自治連よなご

第59号

令和3年(2021年)3月1日発行

発行 米子市自治連合会
(事務局 米子市総合政策部地域振興課内)

編集 『自治連よなご』編集委員会

女性が活躍する自治会活動!!

在宅福祉委員の取組み

富益地区在宅福祉委員会 会長 足立 京子

富益地区在宅福祉委員会では、80歳以上ひとり暮らし、高齢者のみの世帯を対象に「見守り援助活動」を月1回定期的な訪問と声かけを実施しています。

訪問時には日用品などを持参しますが、**必ず手渡し**と決めています。(安否確認の為に) ご本人の様子、ちょっと気になった事などチェック表に記入します。何回か訪問を重ねるうちに、顔なじみとなり、困りごとなど相談しやすい関係ができています。

年1回、民生委員との「見守り連絡会」を開催し、日頃の活動内容の共有、意見交換と話し合いの場をもち、地域包括支援センターに協力を依頼し、困りごとなどの対応の方法などアドバイスを受け、今後の活動の参考にしています。

さらに昨年9月、自治連合会、社会福祉協議会、民生委員、在宅福祉員、地域包括支援センター、公民館の協力のもと「富益地区福祉ケア会議」が発足しました。これにより、お互いの顔の見える、心強い活動が始まっています。

コロナ禍で、地域の高齢者の方が、孤立されないように、そして、住み慣れた自宅で近隣の人達と、安心して暮らせるまちづくりを目指し、住人同士の助け合いが大切だと思っています。



御建自衛消防団女性部の活動について

河崎地区御建自衛消防団 女性部長 東 二葉

御建自衛消防団の中に、女性部が誕生したのは平成29年のこと。

共通の趣味で繋がった御建の女性が集まり、親睦を深める中で誰からともなく「地域のために何かできたらいいね」「何か始めたいね」との会話を頻繁にするようになった。そこで、自治会長や当時の自衛消防団長に相談し、地域活動のリーダー的な団体である御建自衛消防団に入団した。女性部の活動目的は、女性の目線で地域の見守りを行い、『地域づくりに働きかける』とした。はじめは、自衛消防団のサポート的な活動から、その後は子供会とのコラボレーション、高齢者の見守り、地域づくりへの働きかけと活動の幅を広げていきました。

子供会とのかかわりを持つことで、中学生、高校生になっても子どもたちが地域と繋がる環境の土台作り、将来子どもたちが地元に戻ってきてくれたら良いなという思いで取り組みました。次に独居高齢者宅を訪問することで、高齢者が地域から孤立しないように、地域と高齢者の架け橋となればとの思いから訪問を始めました。子どもから大人まで世代や性別を超えた住民間の交流を目的にサロンを立ち上げ、内容や講師などメンバーで知恵を絞り企画しました。私たちの活動は、ほんの小さなものだが、これからも自分達が住む地域との繋がりを深め、住みやすい地域にしたい。ただ令和2年度は、新型コロナウイルスの影響で様々な行事が活動自粛となりましたが、地域との繋がりを継続するにあたり、独居高齢者の皆さんに手作りのクリスマスカードをお配りしました。また、自衛消防団として、当然防災面での活動もしている。AEDを使用した心肺蘇生訓練、消火訓練。防災サイレンが鳴れば、制服に着替えて出動している。コロナ禍で活動が自粛となる中ですが、私たちの目的でもある地域づくりは、この時世だからこそ必要な活動と考え、感染予防対策に配慮しながら今後も続けていきます。



令和2年度 春の叙勲 旭日単光章受賞 福米西地区 新開西三区自治会 会長 池田 弘氏
令和2年度 総務大臣表彰受賞 夜見地区 夜見四区自治会 会長 松本 眞氏

「写真で見る地域の活動」

啓成地区 勝田町東区自治会

令和2年9月に第36回集いの日、大交遊会はマスク着用で競技種目を減少したにもかかわらず、幼児から92歳の64名が参加し、親睦を深めました。



福米東地区

11月14日(土)、文化部を中心に秋の収穫祭を開催しました。コロナ感染防止対策を徹底し好天の下、野菜・果物や手作り味噌等を販売し多くのみなさんに来ていただき盛会でした。



車尾地区

「真布禰神社石造唐獅子」が新たに米子市指定有形文化財に指定されました。これは、江戸時代後期に同神社に寄進された県内最古の年号を持つ参道狛犬です。車尾地区には、このほか多くの文化財がありますので、遊びに来てください。



石造唐獅子阿形



石造唐獅子吡形

夜見地区

夜見地区には、「マイタマイタ」という伝承行事があります。藁をなつて7メートル程の大蛇(おろち)を作り、祖先の霊を祀り地区の繁栄を祈るといふ約260年前に始まったとされる神事です。



福米西地区

福米西地区では、毎年9月に海岸一斉清掃を行なひます。令和2年はコロナ禍が懸念されましたが、9月6日に実施しました。台風10号山陰地方最接近の前日にもかかわらず、風は無く、雨も降りませんでした。不思議なくらいおだやかな日でした。子どもたちを含め、たくさんの方々の参加をいただき、きれいになつた海岸を見て帰路に着きました。



加茂地区 浜河崎自治会

浜河崎自治会の子供会が主催する恒例行事の河崎地下道清掃は、3ヶ月に1回の割合で子どもたちと保護者で実施しております。昨年は4回実施しており延べ約200人が参加しました。

本年度は、新型コロナウイルス感染防止のため実施していませんが、来年度は引き続き綺麗な河崎地下道にしていきたいと思っています。



医療・保健・福祉 ホスピタウンネットワーク



医療法人
社会福祉法人

真誠会

米子ホスピタウン (河崎) 弓浜ホスピタウン (大崎)
米子中央ホスピタウン 外浜ホスピタウン 高齢者生活支援隊
(西福原、富士見町、皆生) (和田町、富益町、夜見町)

米子市河崎580 TEL 0859-24-5666 <http://www.hospitown.or.jp/>



社会福祉法人尚徳福祉会
認定こども園
ベアーズ

〒683-0257
米子市榎原1889-6
TEL (0859)39-7100
FAX (0859)39-7101

ホームページアドレス
<http://stg21.com/bears/>

大高地区

11月19日「Let's ウォーキング・賽(さい)の神巡り」を実施。地元有志の先導により大高地区の7つの神社、10キロの道のりを3時間かけて参加者全員無事に踏破しました。



和田地区

高齢化率40.1% (米子市でトップ) の和田町で“住み慣れた土地で安心して暮らせる町づくり”を目標に平成27年9月『和田町地域ケア会議』を立ち上げました。メンバーは自治会、民生委員、在宅福祉員のほか駐在さん、長寿社会課、地元介護施設など50名以上で構成され2ヶ月毎に開催しています。



大篠津地区

美保飛行場の拡張工事に伴って、大篠津駅を米子側に移転し御崎口駅と改称したが、「大篠津の名前を残してほしい」と住民の要望により、平成20年大篠津町駅と改称された。駅の待合室及び周辺(駐輪場含む)の清掃を地区の10自治会が1ヶ月交代で清掃作業を行っています。



福生東地区 1区、2区自治会

郷土の伝統行事としてご紹介するのは「くちなわさん」です。八代荒神社秋の例祭と併せて行う神事です。

くちなわさんは祝い唄を歌いながらわら蛇(約30メートル)、尻尾にはわら製の海亀添え、当社に奉納する行事です。

令和2年はコロナ禍のなか、奉納は中止と致しました。



県地区

コロナ禍の中、県地区の玄関口に位置する、野本川の清掃作業を7月の炎天下の下、県地区環境をよくする会と地元自治会合同で実施しました。三密を避けながら清掃を終え綺麗になった野本川を眺めながら清掃作業を終えました。



宇田川地区

令和2年度秋の文化祭はコロナ感染症リスク回避の観点から展示物となりました。今年度は自治会対抗歌合戦でも企画したかったのに残念。次年度は宇田川地区らしさを表現できる文化祭をみんなで企画したいですね。



春日地区 東八幡自治会

毎年1月の第2日曜日にとんどさん(左義長)が執り行われます。自治会班周りで当番となり、年男が天狗装束で祭司となり、各家々を訪問して、家内安全、無病息災の祝詞を奏上します。最後に、とんどさんの前で八幡神社宮司による神事が執り行われ、火入れを行い参加者は祈願をします。

美保動物霊園

MIHO FOREST

米子市河崎1299番地(ランドワーク内)

受付 ☎ 0120-124-619

TEL (0859) 24-5619 FAX (0859) 24-2472

info@miho-forest.jp HP <http://miho-forest.jp>

家族想いの葬儀



家族葬

さくら

家族葬さくら 米子 Q検索



安置所

さくら

安置所さくら 米子 Q検索

鳥取県米子市内町124 | TEL 0859-36-6611

新型コロナについて 地域で・家庭で 感染予防に努めましょう！

「新型コロナと地域活動について」

米子市自治連合会会長 高野 和男

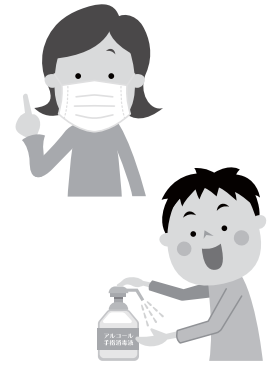
新型コロナウイルスの感染拡大防止対策が長期化し、人々は巣ごもり生活を強いられています。私が暮らす車尾地区でも気分転換のための散歩やジョギングをする人が多くなったと感じています。

国においては、経済対策としての「GOTOキャンペーン」が実施されていますが、やはり三密防止のための外出の自粛が最優先となっています。

自治会等の地域活動においても「新しい生活様式」や「新型コロナウイルスの感染拡大防止のための地域活動ガイドライン」の実践が求められ、多くの行事や会議の開催も中止や延期等柔軟な対応が必要となっています。

その中において、自治会は住民相互が助け合い、高齢者など要援護者への見守りなど地域の身近な活動に献身的に取り組んでいます。

これからも住民が主体となり、安心して生活ができる地域づくりに最善の努力を尽くして参りますので、住民の皆さんの絶大な信頼とご理解・ご協力をお願いいたします。



米子市自治会役員研修報告「男女(みんな)で考える災害対応」

米子市自治連合会研修委員長 新見 博士

令和2年度の常任委員研修は、新型コロナウイルス感染症拡大の収束の目処が立たない中で近場での郊外研修を考察しましたが、何処も行動に制約が係るところから各自治会長をはじめとして、自治会で活躍される自治会役員を対象にした講演会形式の研修会を計画する中で、「男女共同参画推進課」とタイアップした講演会を実施することとなり、令和2年11月28日午前10時から「ふれあいの里」に於いて、関西学院大学災害復興制度研究所主任研究員・准教授齊藤容子先生を講師に迎えて「男女(みんな)で考える災害対応」をテーマに開催しました。

参加者の皆様に感染症対策として、マスクの着用・入場時の検温と手指の消毒、席は密を避け間隔をとるといった厳重な予防対策を講じて行いました。

さて、受講された皆さんは災害時の避難所運営についてどのように感じられましたか。災害に関する講演は、「災害とは」「災害から身を守るための備え」「自助・共助・公助が大切」。そして、「災害現場写真を見ながら災害の恐ろしさ」を知る事が一般的であると思います。

今回の研修における「男女(みんな)で考える災害対応」は、度重なる災害によって、それぞれの災害発生地域に設置された避難所運営を巡って、運営する側と避難者の間でいかに問題点が多いかを改めて痛感させられるものでした。避難所運営に当たるのは主として、地域自治会(自主防災会)の男性役員ですが同じく被災者です。避難所は男性目線での運営が主体的で、女性目線での運営が疎かになりがちであることがわかりました。避難所運営に関して女性だから口出し出来ない、女性であるが故に我慢してしまうなど、具体例を挙げた講話を聞き、災害時の避難所運営のあり方、難しさを改めて勉強した研修会であったと思います。



編集後記

令和二年度は新型コロナウイルスの影響により、各地域における運動会、敬老会、公民館祭などの諸行事、活動などの大半が延期、中止になりました。

「自治連よなご」の発行も減らして一回にしました。

今回の59号では、地域における「活躍する女性」を紹介し、リーダーシップを発揮していただく女性が増えれば、より地域の活性化が図られるのではと期待しております。

また前号に続いて「写真で見る地域活動」をテーマとし、各地域における伝統行事、イベントなど多種多様な活動を紹介させていただきました。

今年度は過去に類を見ない異常な一年になりましたが、一日も早く新型コロナウイルスが収束し平常に戻ることを願っています。

最後になりましたが、記事をお寄せ頂いた皆様にお礼と感謝申し上げます。とともに、今後とも皆様のご支援、ご協力をお願いします。